

平成 28 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 日 東 工 業 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 佐 々 木 拓 郎  
 (コード 6651 東証・名証第 1 部)  
 問 合 せ 先 経 理 部 長 下 崎 一 洋  
 ( T E L . 0 5 6 1 - 6 2 - 3 1 1 1 )

平成 29 年 3 月期第 2 四半期業績予想と実績値との差異  
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期業績予想も修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり連結 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 50,800	百万円 3,100	百万円 3,100	百万円 2,300	円 銭 56.87
今回実績(B)	48,835	2,229	2,113	1,818	44.95
増減額(B-A)	△1,964	△870	△986	△481	-
増減率(%)	△3.9%	△28.1%	△31.8%	△21.0%	-
(参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期 第 2 四半期)	49,109	4,522	4,315	2,790	69.00

(2) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 113,000	百万円 9,600	百万円 9,500	百万円 6,600	円 銭 163.18
今回修正予想(B)	106,000	6,200	5,900	4,200	103.80
増減額(B-A)	△7,000	△3,400	△3,600	△2,400	-
増減率(%)	△6.2%	△35.4%	△37.9%	△36.4%	-
(参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	108,463	11,264	10,937	7,402	183.00

## 2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異  
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,200	百万円 3,000	百万円 2,200	円 銭 54.39
今回実績(B)	31,128	1,955	1,654	40.89
増減額(B-A)	△2,071	△1,044	△545	-
増減率(%)	△6.2%	△34.8%	△24.8%	-
(参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期 第 2 四半期)	34,896	4,334	2,902	71.76

(2) 平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 73,500	百万円 8,300	百万円 5,700	円 銭 140.93
今回修正予想(B)	67,000	4,800	3,600	88.97
増減額(B-A)	△6,500	△3,500	△2,100	-
増減率(%)	△8.8%	△42.2%	△36.8%	-
(参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	74,304	9,599	6,661	164.69

## 3. 業績予想修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

連結業績につきましては、情報通信関連流通事業及び工事・サービス事業が堅調に推移したほか、新規連結子会社による売上貢献があったものの、配電盤関連製造事業に属する日東工業株式会社単体及び子会社の減収により、期初予想を下回る結果となりました。各利益項目につきましては、減収に伴う限界利益の減少などにより減益となり、固定資産売却による特別利益を計上したものの期初予想を下回る結果となりました。

個別業績につきましては、太陽光発電関連製品の売上の減少は期初計画の想定内であったものの、民間設備投資が低調に推移したことなどにより、既存市場の売上が前年を上回ることが出来ず、期初予想を下回る結果となりました。

(2) 通期業績予想の修正

連結・個別の通期業績予想につきましては、民間設備投資などが第 3 四半期以降においても第 2 四半期までと同様の傾向が続くと予想されるため、売上高・各利益の期初予想を下回る見込みであります。これらを踏まえ、売上高・各利益予想を上記のとおり修正するものであります。

(注) 業績予想の適切な利用に関する資料、その他特記事項

上記の業績予想等は、本資料発表日現在の見通し、計画に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。